

令和4年度夏 あらかわ俳句吟行会

投句数	135句
投句者数	37人
投句条件	①テーマ:あらかわ遊園 ②夏の季語を用いること
選者	佐々木 忠利氏(荒川区俳句連盟会長)ほか
実施日	令和4年5月21日(土曜)から7月11日(月曜)

特選	百年を祝い豆汽車虹駆ける	近江堇花さん
選評	新しく生まれ変わった「あらかわ遊園」を祝う様に、豆汽車がどうぶつ広場をぐるぐると回っている。動きに一味加えたような膨らみを感じられ、ギリシャ神話を思わせるような「豆汽車虹駆ける」には感動の一端が見え隠れする。(荒川区俳句連盟会長・佐々木忠利氏)	
入選	思はざる魚信を得たる金魚釣	破れ蓮さん
	観覧車日傘の母が待つ地平	山月恍さん
	水遊足りて幼の午睡かな	安田蝸牛さん
	アルパカの振り向き様の目や涼し	田中礼子さん
	ゴンドラや夕焼けの町を見晴かす	一色由美子さん

令和4年度秋 あらかわ俳句吟行会

投句数	106句
投句者数	32人
投句条件	①テーマ:あらかわ街なか美術館 ②秋の季語を用いること
選者	佐々木 忠利氏(荒川区俳句連盟会長)ほか
実施日	令和4年8月21日(日曜)から9月21日(水曜)

特選	星流るトルハルバンの大きな手	一色由美子さん
選評	星が光を発して飛ぶ現象を荒川公園のトルハルバン像に一瞬の景として捉えた。この像は、当区と韓国濟州市との友好都市を結ばれた記念に受贈された「石で作ったおじいさん」像である。お腹に大きな手を合わせる様子を見事に詠まれた。何よりも具体性を由とした。(荒川区俳句連盟会長・佐々木忠利氏)	
入選	昇華像差す手に群れる赤蜻蛉	奥谷たき江さん
	母子像の福耳揃ひ秋の声	山月恍さん
	道灌の弓の長さへ小鳥来る	音羽凜さん
	秋天のドナウ広場に笛朗々	近江堇花さん
	ドルフィンの子の群の跳ねるや夕月夜	破れ蓮さん